

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 7 月 24 日(2023.7.24)

【公開番号】特開 2022-18273(P2022-18273A)
【公開日】令和 4 年 1 月 27 日(2022.1.27)
【年通号数】公開公報(特許)2022-015
【出願番号】特願 2020-121268(P2020-121268)
【国際特許分類】

G 0 3 B 9/02(2021.01)

10

G 0 3 B 9/06(2021.01)

G 0 2 B 7/02(2021.01)

G 0 2 B 7/04(2021.01)

G 0 3 B 5/00(2021.01)

【F I】

G 0 3 B 9/02 C

G 0 3 B 9/06

G 0 2 B 7/02 H

G 0 2 B 7/04 E

G 0 3 B 5/00 J

20

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 13 日(2023.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような課題を鑑み、本発明の光量調節装置では、
光が通過する光通過開口を有するベース部材と、

30

表裏が重なり合うように前記光通過開口の周囲に環状に配置され、前記光通過開口内に
進退して絞り開口を形成する複数の絞り羽根と、

前記光通過開口の周囲を回動して前記絞り羽根に駆動力を伝達する駆動リングと、

前記駆動リングと係合する係合部と第 1 マグネットとを有する駆動レバーと、

前記第 1 マグネットと対向する第 1 コイルを有し、前記駆動リングを回動する駆動力を
発生する駆動源と

を備え、

前記第 1 コイルに所定量の通電を行い、前記第 1 マグネットを所望の位置に移動させる
ことで、前記絞り開口を所望の開口面積に変更することを特徴とする。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光が通過する光通過開口を有するベース部材と、

表裏が重なり合うように前記光通過開口の周囲に環状に配置され、前記光通過開口内に
進退して絞り開口を形成する複数の絞り羽根と、

50

前記光通過開口の周囲を回動して前記絞り羽根に駆動力を伝達する駆動リングと、
前記駆動リングと係合する係合部と第 1 マグネットとを有する駆動レバーと、
前記第 1 マグネットと対向する第 1 コイルを有し、前記駆動リングを回動する駆動力を
発生する駆動源と
を備え、

前記第 1 コイルに所定量の通電を行い、前記第 1 マグネットを所望の位置に移動させる
ことで、前記絞り開口を所望の開口面積に変更することを特徴とする光量調節装置。

【請求項 2】

前記光が通過するレンズを保持し、前記ベース部材に対し基準位置から前記光の光軸と
直交する直交方向に移動可能なレンズ保持部材と
を備え、

10

前記複数の絞り羽根は、前記レンズ保持部材に取り付けられ、

前記第 1 コイルに通電して前記駆動レバーを移動させる際に、前記レンズ保持部材にお
ける前記直交方向への前記基準位置からの移動量に応じて前記駆動レバーの移動量を補正
することを特徴とする請求項 1 に記載の光量調節装置。

【請求項 3】

前記レンズ保持部材が前記直交方向に移動される時に、前記レンズ保持部材に対する前
記駆動レバーの相対位置が変化しないことを特徴とする請求項 2 に記載の光量調節装置。

【請求項 4】

前記レンズ保持部材は、直方体形状であり、前記駆動リング、前記駆動レバーが取り付け
られ、

20

前記第 1 コイルは、前記ベース部材における前記光軸と平行な第 1 の側面に配置された
ことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の光量調節装置。

【請求項 5】

前記ベース部材における、前記光軸と平行で前記第 1 の側面と異なり互いに隣接する第 2
の側面と第 3 の側面との 2 つの面にそれぞれ設けられた第 2 コイルおよび第 3 コイルと、
前記レンズ保持部材に設けられ、前記第 2 コイルと対向する第 2 マグネットと、
前記レンズ保持部材に設けられ、前記第 3 コイルと対向する第 3 マグネットと
を備え、

前記第 2 コイルまたは前記第 3 コイルに通電することで、前記直交方向に前記レンズ保
持部材を移動可能であることを特徴とする請求項 4 に記載の光量調節装置。

30

【請求項 6】

前記ベース部材において、前記光軸と平行で前記第 1 の側面、前記第 2 の側面、前記第 3
の側面のいずれとも異なる第 4 の側面に設けられた第 4 コイルと、

前記レンズ保持部材に設けられ、前記第 4 コイルと対向する第 4 マグネットと、
を備え、

前記第 4 コイルに通電し、前記レンズ保持部材を前記光の光軸方向に移動させることで
、オートフォーカス動作が可能であることを特徴とする請求項 5 に記載の光量調節装置。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の光量調節装置を有し、

40

前記第 1 コイルへの通電量を制御して前記絞り開口の開口面積を変更することを特徴と
する携帯端末。